

令和6年度 第1回 研究評価委員会

開催日時

令和6年9月13日（金）13:30～16:30

1 中間評価対象課題と評価結果

	進捗状況	得られた成果	目標達成の可能性	課題の取扱い	合計
(1) 乳牛の糞粒度分布を指標とした栄養管理技術の開発 (大家畜研究課 R5～7)	4.0	4.0	4.0	4.0	16.0

○ その他特記事項等（評価委員コメント）

- ・精密な給与方法の確立は重要な課題である。
- ・無駄な餌をやらないことでコスト低減につながる技術として必要である。

※中間評価結果の数字は、各評価項目について、次の判断基準により4名の評価委員が評価した点数の平均値です。

1. 進捗状況

5点：予定以上に進んでいる	4点：ほぼ予定どおりに進んでいる
2点：予定どおりに進んでいない	1点：ほとんど予定どおりに進んでいない
2. 得られた成果

5点：期待以上の成果が得られた	4点：ある程度の成果が得られた
2点：あまり成果が得られていない	1点：ほとんど成果が得られていない
3. 目標達成の可能性

5点：極めて可能性が高い	4点：可能性が高い
2点：可能性が低い	1点：ほとんど可能性がない
4. 課題の取扱い

5点：飛躍的に取り組みを強める	4点：取り組みを強める
2点：取り組みを緩める	1点：むしろ中止すべきである

2 令和7年度新規課題事前評価対象課題と評価結果

	必要緊急性	新規独創性	達成の可能性	期待される成果	合計
(1) 黒毛和種雌牛肥育における高CP高NFC飼料の効果的な給与技術の検討 (大家畜研究課 R7～10)	3.5	4.0	3.5	4.0	15.0

○ その他特記事項等（評価委員コメント）

- ・高品質な牛肉生産のため、多くの肥育農家は高CP飼料が中心となる飼料給与を行っている。効率的な給与バランスを探ることは農家の飼料設計に対する意識改革となる研究課題である。

	必要緊急性	新規独創性	達成の可能性	期待される成果	合計
(2) 地鶏種鶏の種卵・雛安定生産に向けた暑熱対策の検討 (中小家畜研究課 R7～9)	4.0	4.0	3.8	4.3	16.0

○ その他特記事項等（評価委員コメント）

- ・暑熱対策は、これからも進む温暖化に対応した鶏の飼養管理技術として重要な研究課題である。
- ・飼料に添加する機能性資材のコストを考えた、費用対効果の検討が必要である。

	必要緊急性	新規独創性	達成の可能性	期待される成果	合計
(3) ゲル培養体外胚の有効性の検討 (家畜改良繁殖研究課 R7～9)	3.5	4.0	3.5	4.3	15.3

○ その他特記事項等（評価委員コメント）

- ・和牛受精卵の移植による子牛生産技術の開発を進めることは、県内での肥育素牛の安定確保につながる技術として重要な研究課題である。
- ・優良な繁殖用雌牛の県内保留も視野に入れて取り組んでほしい。

	必要緊急性	新規独創性	達成の可能性	期待される成果	合計
(4) 熱ショックタンパク質による耐凍性の高い体外胚の作出 (家畜改良繁殖研究課 R7～9)	3.5	4.3	3.5	4.3	15.5

○ その他特記事項等（評価委員コメント）

- ・和牛受精卵の移植による子牛生産技術の開発を進めることは、県内での肥育素牛の安定確保につながる技術として重要な研究課題である。
- ・優良な繁殖用雌牛の県内保留も視野に入れて取り組んでほしい。

※事前評価結果の数字は、各評価項目について、次の判断基準により4名の評価委員が評価した点数の平均値です。

1. 必要緊急性

5点：極めて緊急に必要である

2点：緊急に必要ではない

4点：緊急に必要である

1点：ほとんど緊急でも必要でもない

2. 新規独創性

5点：極めて新規性も独創性も高い

2点：新規性も独創性も低い

4点：新規性も独創性も高い

1点：ほとんど新規性も独創性もない

3. 目的達成の可能性

5点：極めて可能性が高い

2点：可能性が低い

4点：可能性が高い

1点：ほとんど可能性がない

4. 期待される効果

5点：大いに期待できる

2点：あまり期待できない

4点：ある程度期待できる

1点：ほとんど期待できない